



我が家のわんにゃお

多頭飼育崩壊から救われた “ももち”、「永年預かり」で 甘えたのひとりっ子に!

札幌市/川口浩さん&ももち

2ページでご紹介しましたNPO法人 猫と人を繋ぐツキネコ 北海道の「永年預かり」を今年2月から利用されているお宅に案内していただきました。札幌市の閑静な住宅街のマンションに住む川口浩さんです。

川口さんは林野庁を40年勤めあげ、今は悠々自適の80歳。お部屋にはギターやマンドリンがさりげなく置かれていて、壁には自作の風景画が幾点も飾られています。お名刺に「森遊人」と記されているのも納得できる趣味人とお見受けしました。

日当たりのよい窓側には、犬の写真が3点と骨壺、お線香にお水がまつられています。初代ポボちゃんが15歳で永眠し、二代目ピピちゃんと暮らしていたのだが、昨年亡くなってしまったとのこと。「いつもそばにいたワンコがいなくなると、やっぱりたまらん、毎日が…。かといって、今から犬を飼うのはムリ。散歩をさせるのが大変だし、この年で、犬をわけてくれるところなんてないしね。で、思い出したんだ、北海道新聞だったか、『猫の永年預かり』というのがあるっていう記事を」。

そして、今年初めツキネコカフェを訪れた川口さんに紹介されたのが、“ももち”。多頭飼育崩壊でレスキューされたエイズキャリアの12歳。猫を飼うのは初めての川口さんには、甘えん坊で人



馴れしているところがマッチングのポイントになりました。

“ももち”についてお伺いすると、「犬と比べて表情が乏しいよな〜」と。そりゃ、飼主をみると尾っぽを振り振りして飛びついてくる犬と比較されると猫に勝ち目はありません。「それでも、寝ていると寄ってくる。腹の上に乗ってゴロゴロ。腹が減ったら、ニャ〜。文句は言わないし、楽だ、楽だ。平和だよ、ホント」と、膝の上の“ももち”をやさしく撫でて大満足のご様子です。

9月17日からさっぽろ東急百貨店で始まった「猫レクシオン in さっぽろ東急百貨店」(ツキネコ北海道の企画運営による物販と保護猫譲渡会)に、川口さん、自宅から小一時間もかけて歩いて応援にかけつけてくださったとか。“ももち”の永年預かりを機に、川口さんにとってツキネコ北海道は親戚同然。「猫と人を繋ぐ」ツキネコ北海道が多くの人々に愛され、応援される秘密が解き明かされた思いでした。

ツキネコ北海道の「保護猫の永年預かり制度」

猫を“飼う”のではなく、世話ができなくなるまで“預かる”ことで、高齢者も保護猫も安心して穏やかに暮らせます。

「60歳を過ぎた高齢者だから譲渡してくれない」という声をよく耳にします。改正動物愛護管理法で愛玩動物の「終生飼養」が義務づけられたことから、行政や愛護団体のほとんどは最期まで世話ができないとみなされる高齢者へ保護動物を譲渡しません。しかし、犬や猫と終生共に暮らしたいと切実に願う人は後を絶ちません。

一方、保護動物のなかには高齢であったり障害を持っていたり、“ももち”のようにエイズキャリアであったりして、譲渡先がなかなかみつからず、シェルターの中で年を重ねる保護動物も多くいます。飼いたいのに飼えない高齢者、普通のお家がみつからない保護動物。どちらにとっても不幸でしかありません。

こうした現状を打ち破ったのが、ツキネコ北海道が考案した「保護猫の永年預かり制度」です。

猫といっしょに暮らしたいが、高齢である、病気がちである、独身者であるといった理由で猫を飼うのをあきらめていた方を対象に、猫を「飼う」のではなく、お世話が出来なくなるその時まで猫を「預かる」ことを促す制度。猫の所有権は譲渡しないが、猫のお世話をゆだねるというものです。そのため、預かる猫は選ばませんが、預かりたい方の要望を聞き取り、マッチングされます。

預かる期間に限りはありません。食費や医療費、シッティングサービス料などの飼養費用は永年預かりさんに負担していただく場合もあります。

ただし、ご自身に何かあり、飼育困難になった際にはツキネコ北海道が再度引き取ります。そのため、必ず部屋の目に付くところに「猫の永年預かり証明書」を貼り、永年預かりさんに何かあった際には、ツキネコ北海道に連絡してもらうようにし、猫のいのちを守ります。

今まで数々の永年預かりさんに猫を託してきた代表の吉井美穂子さん、高齢者と猫の相性は抜群で、喜ばれこそすれ、クレームなどを受けたことがないとのこと。この「猫の永年預かり」制度、日本全国で活用してほしいものです。

川口浩さん宅の壁に貼られている「保護猫の永年預かり証明書」▲



ちょっといいかも
トピックス

シャンプー不要 無香料
ペット用高機能入浴洗浄剤
[わんこのおふろ®]



私たち結musubuは『人とペットの笑顔を結ぶ』をコンセプトに、飼い主さんの「困った」を解決するオリジナルのケア用品を展開しています。

【わんこのおふろ®】は、つらそうな愛犬の皮膚トラブルをなんとかしてあげたい! そんな切実な思いから商品化した、お湯に浸かるだけでニオイも汚れも落とせる、『シャンプー・リンス・すすぎ不要』のペット用高機能入浴洗浄剤です。

健康な皮膚や被毛のためにはまず刺激を与えないこと。【わんこのおふろ®】はシャンプー剤のような洗剤ではないので、パピーちゃんからシニアまで安心してお使いいただけます。



■お問合せは
合同会社 結musubu
Email info@musubuwanko.co.jp
WEB https://www.musubuwanko.com
※ホームページの注文フォームからお申込みいただけますと、スムーズです。



ペットと暮らすシニア世代を支援するネットワーク組織
特定非営利活動法人ペットライフネットは、
みなさまのご賛同とご支援で活動しています。

会員募集中

■わんにゃお会員: ペットライフネットのさまざまな活動に賛同し、積極的に参加して下さる方
会費: 年会費15,000円(一括払い)

■賛助会員: ペットライフネットの事業に共感し、会費で応援して下さる方
会費: 103,000円

[ご寄附・会費の振込先] ◎銀行: ゆうちょ銀行 ◎名称: 特定非営利活動法人ペットライフネット
◎店名: 四〇八(ヨンゼロハチ) ◎店番: 408 ◎種目: 普通預金 ◎口座番号: 5830454

編集後記

「わんにゃお通信」vol.2では、来年6月から施行される「適正な飼養管理基準」について特集を組み、弁護士の細川敦史さんに寄稿していただきました。年内に具体策が決めます。11月17日(火)必着でパブリックコメントが募集されています。ぜひ、ご参加ください。

2面と4面では、北海道で猫問題の相談を一手に引き受け、保護猫の保護、譲渡に取り組むNPO法人ツキネコ北海道の活動に密着しました。なかでも、高齢者には譲渡ではなく“預かり”、それも期限なしの“永年”で猫といっしょに暮らせる「永年預かり」制度には、高齢者である私自身が感服しました。日本全国にこの制度が広がることを願ってやみません。

NPO法人ペットライフネット 代表理事 吉本由美子



NPO法人 ペットライフネット

〒550-0012 大阪市西区立売堀1-9-37 ニューライフ本町1階
営業時間▶10:00~17:00

Tel: 06-6541-5733 Fax: 06-6541-5722

Mobile: 080-3821-6427

e-mail: wanyao@petlifenet.org http://petlifenet.org/